



安全検査マーク

# おもちゃ花火



## ルールを守って楽しい花火 おもちゃ花火は危険物です。

### ① 花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守りましょう。

花火遊びにもルールがあります。“ぜったいに手にもって使用してはいけない花火”（打上げ花火等）があります。説明をよく読みましょう。

**事故事例** 使用方法の間違い

兵庫県 男性 48才  
スモークボールを手を持って点火したところ発煙し、手を火傷。

### ② 花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所です遊んだりしないようにしましょう。衣服に火がつかないように注意しましょう。

花火遊びをするときは、筒先の方向・場所などに十分に注意しましょう。衣服が燃えると大きなヤケドとなることもあります。

**事故事例** 火災

新潟県 中学3年 男子  
自宅前でロケット花火をしていたところかやぶき屋根の上に落ちて出火。

### ③ 手持ちの筒花火は、手の位置に注意しましょう。

手持ちの吹き出しものは、筒底を握らず、筒の中程より少し下をもち、体から離して使用すると安全です。

### ④ 風の強いときは、花火遊びはやめましょう。

風の強いときは、遊ばないことです。点火の際は、体を風上にして、風下の人が火の粉をかぶらないよう、風の方向に注意しましょう。

### ⑤ 水を用意しましょう。

バケツの水に終わった花火をつけましょう。残り火を完全消火し、燃えかすで庭や道路をよごさずすみませう。途中で消えた花火は水につけましょう。



使用方法・警告・  
注意を守ろう!

### ⑥ 大人と一緒に遊びましょう。

花火遊びは危ないとおこられたため、子供達だけでかかれて遊び、事故をおこした例が少なくありません。大人が積極的に参加して、花火の正しい遊び方、火のあとしまつを指導してあげてください。

### ⑦ たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。1本ずつ遊びましょう。

1本ずつ火をつければおとなしい花火でも、数本まとめて火をつけると、熱が熱を呼んで大きな炎になって危険です。

**事故事例** まとめ消費

香川県 男性 31才  
スパークラーをまとめて着火し、右手に火傷。

### ⑧ 正しい位置に正しい方法で点火してください。

点火の位置が種類や形状によって異なります。点火方法を確かめてローソク又は線香で点火しましょう。（マッチ・ライター、花火は使わないこと）

**事故事例** ライター着火

東京都 男性 20才  
打上げ花火にライターで点火したところ、着火と同時に打ち上がり、目と周囲を火傷。

### ⑨ 花火の筒先に顔や手を絶対出さないこと。点火する時や途中で火が消えたときは、特に注意。

**事故事例** のぞき込み

兵庫県 女性 20才  
打上げ花火を導火線に点火後のぞき込んで左目を星が直撃。視力が低下。

### ⑩ 花火をポケットに入れてはいけません。

転んだり、ぶつかりあったはずみで発火してヤケドをするなど、思いもよらぬ事故につながります。

### ⑪ 花火を分解して遊ぶことは危険です。絶対してはいけません。

**事故事例** 分解

千葉県 中学3年 男子  
花火を分解し火薬を容器に入れていじっていたところ爆発。親指の付け根を骨折。

## “花火遊びは、迷惑にならないルールとマナー”

#### ● 時間、場所についての条例を守りましょう

（神奈川県条例、芦屋市条例、鴨川条例など）

#### ● 音の出る花火は、人の迷惑にならない場所と時間を選びましょう

高く上がって音のする花火は、マンションなどに飛び込んで破裂し驚かせ、ケガをした例があります。飛しようするものは、飛ぶ方向と音に気を付けましょう。

#### ● 風向きを考え、煙で迷惑にならないようにしましょう

夏は窓を開けている家も多いので、煙が入らないように風向きに気をつけましょう。

#### ● 花火は危険物。郵送、飛行機への持ち込みはできません

おもちゃ花火は危険物です。郵便法、航空法の指定により、郵送と飛行機への持ち込みができません。ご注意ください。クリスマスクラッカーを持ち込んだため飛行機の離陸がおくれた例があります。

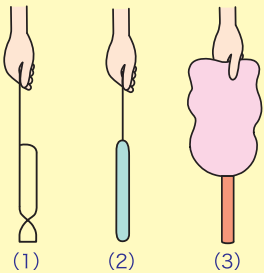


# —おもちゃ花火の遊び方—

## 炎・火の粉・火花を出す花火

1. 手持ち花火 ※数本の束になっている花火は、必ず一本ずつ使用してください。

- (1) ススキ花火
- (2) スパークラー花火
- (3) 絵型花火
- (4) 筒型花火
- (5) 線香花火



(4) 筒型花火

### あそび方のポイント

点火位置

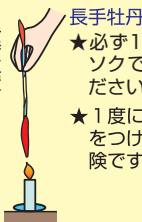


- ★先端にローソクで点火してください。
- ★後端を少しあげて持ち、後ろに自分の体を置かない様

(5) 線香花火

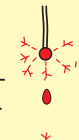
### あそび方のポイント

手持ち位置



長手牡丹

- ★必ず1本ずつローソクで点火してください。
- ★1度にたくさん火をつけると大変危険です。



《注意》

- ★遊んでいる最中に先端の火の玉が落ちることがありますので、手足には十分気を付けてください。
- ★火の玉を水の上に落とさないこと。

スボ手牡丹

- ★ローソクで先端に点火したら斜め上向きに持ってってください。

(1) ススキ花火・(2) スパークラー花火・(3) 絵型花火

### あそび方のポイント

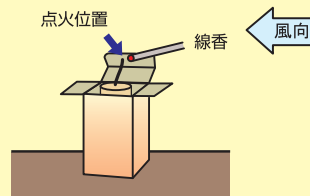
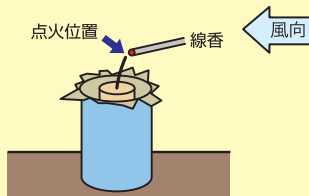


- ★先端にローソクで点火してください。
- ★腕をのばし、体からはなして柄の端をしっかりとってください。

2. 地上で噴出するもの

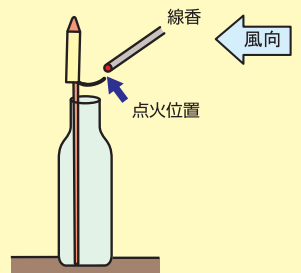
### あそび方のポイント

- ★絶対に手に持って遊ばないこと。
- ★平らな地面に置いて導火線の先端に線香で火をつけて、すばやく離れます。

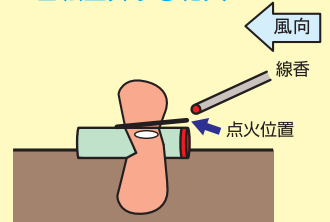


## 飛ばす花火

1. ロケット花火



2. 回転上昇する花火



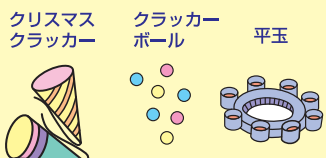
### あそび方のポイント

- ★家や燃えやすいものがない広い場所で遊びましょう。
- ★導火線の先端に線香で火をつけて、すばやく離れます。
- ★ロケット花火は、安定した容器(ビンなど)に立てること。
- ★回転上昇ものは、使用方法を確かめて平らなところに置くこと。

## 爆発音を出す花火

1. 摩擦、衝撃で爆発音を出すもの

クリスマスクラッカー、かんしゃく玉(クラッカーボール)、平玉。



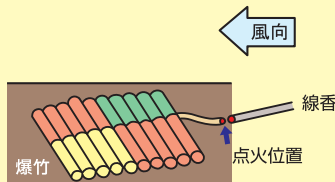
### あそび方のポイント

- ★1個ずつ遊びましょう。
- ★人に向かってうったり、ふざけっこはケガのもと。
- ★絶対にポケットなどに入れないこと。

※音に使用する火薬類は特に危険です。絶対に分解しないでください。

2. 点火によって燃焼し爆発音を出すもの

連続して音を出す爆竹など。



### あそび方のポイント

- ★爆竹は手に持たない。
- ★地面に置いて導火線の先端に線香で火をつけて、すばやく離れます。点火すると爆発音を発し、飛び散ります。
- ★広い場所で使用してください。

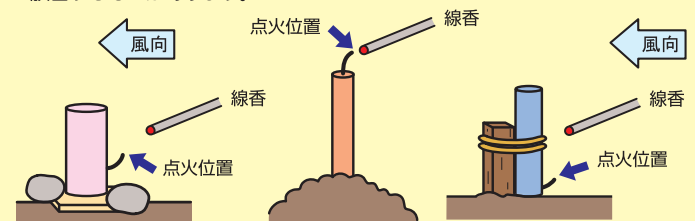
## 打上げ花火

1. 単発花火

一回だけ星が光や火の粉を出しながら打ち上がるものや、内筒が打ち上がり上空で赤や緑の色星などを放出するものがあります。

2. 連発花火

赤や緑の星などが続けて上がるものや、次々と内筒が打ち上がり色星などを放出するものがあります。

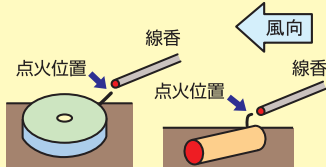


### あそび方のポイント

- ★絶対に手に持って遊ばないこと。長い筒ものは、土や石でしっかり固定するか、くいにしぼります。
- ★地上に置くものは、倒れないように真直ぐに立て固定します。
- ★導火線の先端に線香で火をつけて、すばやく離れます。
- ★決して筒先に顔や体を出さないでください。ケガになることがあります。
- ★広い場所で遊びましょう。
- ★風下には火の粉が飛びます。
- ★パラシュートは、屋間電線や家のない広い場所で遊び、風のあるときはやめましょう。

## 回転する花火

パイプなどの一端から噴射して地上を回転して移動するものなど。

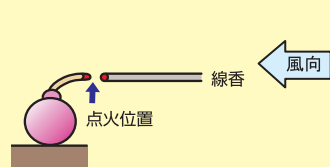


### あそび方のポイント

- ★回転するために、はげしい勢いで広い範囲に火の粉や炎を噴射します。
- ★地上で回転するものは、平らな地面に置いて、導火線の先端に線香で火をつけ、すばやく離れます。

## 煙を出す花火

煙幕(赤や青などの色煙を出す。)(昼花火)

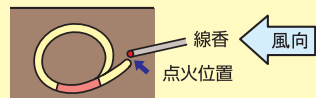


### あそび方のポイント

- ★導火線の先端に線香で火をつけます。
- ★煙ものは燃えている時間が長いので、枯草や燃えやすいものの中に投げ込まないように。火事のもとになります。

## 走行する花火

ねずみ花火(花車)

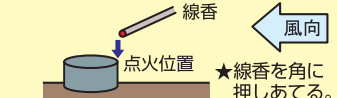


### あそび方のポイント

- ★ねずみ花火は、どちらの方向へ走るかわかりません。
- ★燃えやすいもののある場所やせまい場所では遊ばないこと。

## その他の花火

へび玉(昼花火)



### あそび方のポイント

- ★風のないとき、燃えやすいものがないところで遊びましょう。
- ★膨張した部分は熱くなっています。

## セットもの

- ★セットの中の個々の花火に書いてある使用方法、警告・注意書を必ず読むこと。
- ★セロハンテープは花火を破損しないように、丁寧に貼ってください。
- ★ホチキスの針にはケガをしないように注意してください。